

第4回 名古屋高等商業学校

2016. 5. 10 大学文書資料室

【今回のテーマ】

- ◆どのような特色を持っていたのか。
- ◆どのような経緯をたどり、名古屋大学経済学部となったのか。
- ◆名古屋市を中心とする地元の歴史とどのような関係にあったのか。

1 名高商から名大経済学部へ—歴史とキャンパス—

- ① 名古屋高等商業学校の創立
- ② 剣ヶ丘—名高商のキャンパス—
- ③ 戦争と名高商—工業経営専門学校へ—
- ④ 名大合流かビジネスカレッジか
- ⑤ 名大経済学部としての再出発
- ⑥ 桜山から東山へ

2 名高商の教育と研究—実践主義と総合大学の雰囲気—

- ① 初代校長渡辺龍聖と「二大信条」

② カリキュラムとその変遷

③ 実践主義教育

④ 「名高商は大学だ」—総合大学の雰囲気—

⑤ 産業調査室—「名高商生産指数」で世界に知られる—

⑥ 名高商の教師たち

3 名高商の学生生活—文武両道の「粋な高商さん」たち—

① 入学した若者たち

② 嚶鳴寮での生活

③ スポーツと文化（→第13回）

④ 「粋な高商さん」の学園生活

⑤ 卒業生たちの進路

【参考文献】

堀田慎一郎「企画展『響け！創統の鐘—名高商から名大経済学部への九〇年—』

（『名古屋大学大学文書資料室紀要』第19号、2011年3月）

※「名古屋大学学術機関リポジトリ」（附属図書館HP）で閲覧・ダウンロードできます。